

調 達 品 目 表

調 達 要 求 番 号		作 成 部 課	
調 達 要 求 年 月 日		作 成 年 月 日	
仕 様 書 番 号	C & L P S - Q 0 0 0 1 2 - 8		

品 名	カタログ製品名 ^{a)}	備 考
食器洗浄機 1号	(株) フジマック F A D 2 8 2 L (R) S (株) 中西製作所 E O D - Z 2 3 S A 又は同等以上のもの (他社の製品を含む)	

注^{a)} この調達品目表に記載したカタログ製品名は、製品を選定する際の参考として例示したものであり、当該製品を指定するものではない。

1 同等とする性能等

- a) 飯わん、汁わん、皿、コップなどの食器類を洗浄できる構造である。
- b) 食器を浸せき槽内に浸せきさせ、固着した野菜、米飯等を剥離しやすい状態にするとともに、コンベヤで洗浄機内を移動させ、下洗い洗浄及び仕上げ洗い洗浄などが行われる構造である。
- c) 洗浄機部内にコンベヤ、熱湯噴射機、仕上げ噴射機（熱湯部及び冷却水部からなる）及び食器押さえを設けるものとする。食器押さえは、コンベヤ上の食器の安定を図るとともに食器の洗浄効果を損なわない構造である。
- d) 洗浄機は、下部に電動機直結型ポンプとコンベヤ駆動装置を装着するとともに、2槽の洗浄槽を有する構造である。
- e) 洗浄機部のポンプは、洗浄槽 1 EA につき 1 台を装備した構造である。
- f) 洗浄機の熱湯噴射ノズルは上下とも取り外しができ、容易に清掃ができる構造である。
- g) コンベヤはフラットタイプとし、食器類の汚損、脱落及び食い込み破損等が発生させないよう考慮された構造とする。また、箸、スプーン等による機械的故障防止の為、自動停止装置を備えている構造である。
- h) ポンプ及びコンベヤ用電動機の制御は、電動機保護のため防水構造の制御箱に収納した電磁開閉器によって行う構造である。
- i) 各洗浄槽の洗浄水は、サイレンサーを通じて吹き込む蒸気で、60℃以上に保つことができ、温度調節器により自動的に行える構造である。
- j) 洗浄機部の入口及び出口にカーテンを装着した構造である。
- k) 浸せき槽には、給水、給気及びオーバーフロー管を装着した構造である。
- l) 熱交換機は、毎分20リットル以上のお湯を80℃以上に上昇させることが可能であり、連続供給できる構造である。
- m) 熱交換機の湯温調節は自動的に行う構造である。
- n) 洗浄機部、浸せき槽部及び受台部の材質は、板厚1.2mm以上のステンレス鋼板を使用した構造である。
- o) 洗浄機部内及び浸せき槽部内の直接湯水に浸せきされる部分と湯水の噴射される部分は、ステンレス鋼板（SUS430以上）を使用した構造である。
- p) 各架台は、ステンレス製（SUS430以上）を使用した構造である。

調達品目表(続き)

2 性能諸元及び寸法

a) 熱源	蒸気式
b) 洗浄槽数	2槽
c) 蒸気消費量 (kg/h)	250以下
d) 使用蒸気圧 (kpa)	200~300
e) 電源	3相200V
f) 消費電力 (kW)	10以下
g) 電動機容量 (1台)	
ポンプ用 (kW)	2.2 ~ 3.7
コンベヤ用 (kW)	0.1 ~ 0.4
h) コンベヤ幅 (mm)	700 ~ 850
i) 洗浄能力 (枚/h)	φ150mm皿又はφ140mm皿で6000枚以上
j) 外形寸法 (mm)	
(洗浄機部)	間口 (W) 2600~3800
	奥行 (D) 1000~1160
	高さ (H) 1200~1710
(浸せき槽部) ¹⁾	間口 (W) 1400~1950
	奥行 (D) 850~1000
(受台部) ²⁾	間口 (W) 850~1200
	奥行 (D) 850~1000

注¹⁾ 高さについては、食器洗浄機本体とバランスの取れたものとする。

注²⁾ 洗浄機部、浸せき槽部、受台部の組み合わせは、6220mmを最大とする。

3 その他

- カタログの条件は、当該物品であること（一般構造等）が確認できる現物写真を掲載したものとする。
- 添付書類は、取扱説明書（製造業者制定のもの）を納入部隊へ1EA毎に各2部添付すること。
- 付属品
 - カーテン×1枚
 - コンベヤロッド×2SE
 - 食器押さえ×1本
- 提出書類（C&LPS-Y00007の4.1類別原資料及び取扱説明書）は不要とする。
- 設置調整は不要とする。